

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機 第101期中間ご報告

2016年3月21日 ▶ 2016年9月20日

(証券コード：6506)

Contents

株主のみなさまへ	1
特集:クリーンパワー事業の取り組み...	3
事業案内	4
セグメント別の概況	5
トピックス	10
株式の状況	13
会社の概要	14

To our shareholders

株主のみなさまへ



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年度中間期の当社業績につきましては、急激な円高進行の影響により前年同期に対して減収減益となりましたが、中国を中心とするスマートフォンや自動車関連での旺盛な設備投資需要等により、利益は期初計画を上回る結果となりました。2016年度下期においては、新製品の開発・市場投入などを通じた主力事業の受注拡大や、大型風力発電事業・EV（電気自動車）事業などの環境・エネルギー分野についてコア事業化を進めてまいります。なお、2016年度通期の業績見通しについては、昨今の為替環境における急激な変化等を踏まえ売上高を下方修正しましたが、利益は中国を中心とした好調な受注により、従来予想を据え置きました。当社は今後、中期経営計画「Dash 25」の実現に向けた課題と方策をより明確にし、これらの確実な実行を通じた企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月
代表取締役社長

小笠原 浩

■ 決算の概要

当社グループを取り巻く経営環境は、米国経済が引き続き堅調に推移したほか、英国のEU離脱問題により懸念された世界経済への影響が限定的だったことから、先進国を中心とした経済は緩やかな回復基調となりました。また、中国経済は昨年末の急速な冷え込みから回復し、生産設備の高度化・自動化等の加速により底堅く推移しました。国内については、為替の円高基調が継続しているものの、景気全般については緩やかな回復傾向となりました。

このような状況下、当社グループは環境・エネルギー分野をはじめとする新規事業領域の開拓や新製品の積極投入による競争力・採算性の向上を目指し、事業の拡大を図ってまいりましたが為替の急激な円高進行が業績へ大きく影響を与える状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの

業績は、売上高1,876億44百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益138億18百万円（同27.2%減）、経常利益137億54百万円（同27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益86億9百万円（同28.4%減）となり、前年同期比で減収減益となりました。

● 売上高（第2四半期累計・連結）



2015年度 2,079億47百万円 → 2016年度 1,876億44百万円 前年同期比9.8%減

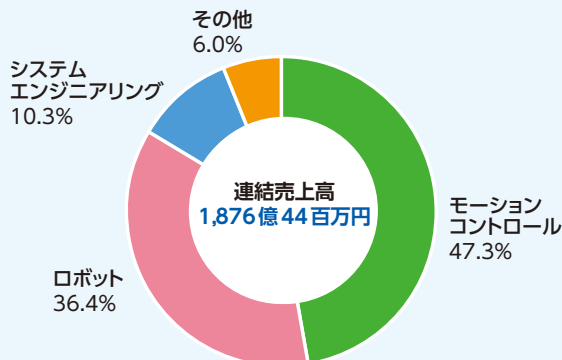
● 営業利益（第2四半期累計・連結）



2015年度 189億79百万円 → 2016年度 138億18百万円 前年同期比27.2%減

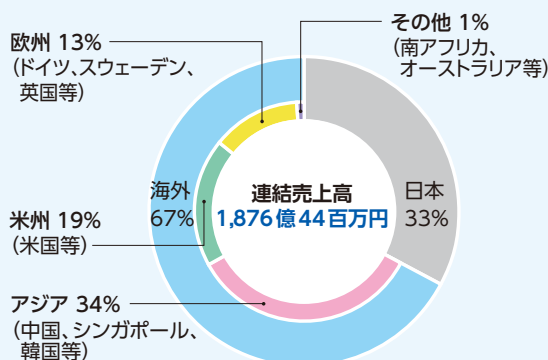
● 売上高のセグメント別内訳

（2016年度 第2四半期累計）



● 売上高の地域別内訳

（2016年度 第2四半期累計）



特集：クリーンパワー事業の取り組み

■“クリーンパワー事業”をコア事業化へ

中期経営計画「Dash 25」(2016年度～2018年度)では基本方針のひとつとして、「創」エネ・「活」エネ分野を中心としたグローバル展開加速により、クリーンパワー事業を新たな事業の柱へ成長させることを目標としています。

具体的な取り組み

太陽光発電用パワーコンディショナ

2014年度に買収したソレクトリア社※2が有する高い技術力と強固な顧客基盤を生かし、グローバルに展開できる新製品開発とその拡販を進めます。

※2: 太陽光発電用パワーコンディショナを製造・販売する米国の会社

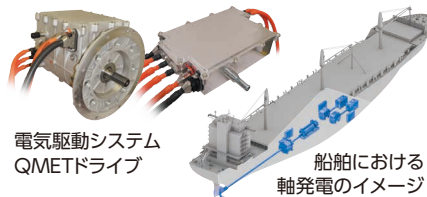


太陽光発電用パワーコンディショナ

電気駆動システム

EV(電気自動車)向け電気駆動システムにおいて、市場成長が著しい中国市場を攻略します。2016年4月、9月に関連企業との資本提携を行っています。(P.10、12参照)。

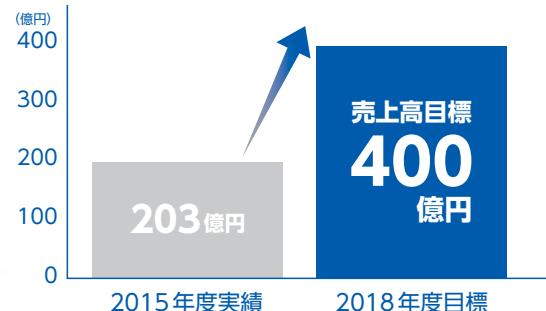
また、風力発電技術などを船舶分野に応用させ、軸発電や電気推進などの製品開発を通じ、船舶システム分野での事業拡大を図っていきます。



電気駆動システム
QMETドライブ

船舶における
軸発電のイメージ

新規事業領域※1の売上高目標

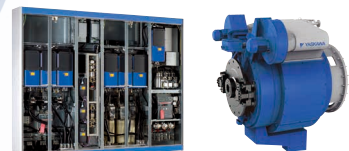


※1: 新規事業領域は、クリーンパワー事業とヒューマトロニクス事業から構成されています

大型風力発電用電機品

2014年度に買収したスイッチ社※3とのシナジーを最大化させ、製品内製化率の向上や、新規顧客開拓などの積極的な営業活動を行い、欧州・中国などを中心に受注を拡大させています。

※3: 大型風力発電用電機品(発電機・コンバータ)を製造・販売するフィンランドの会社



低圧フルコンバータ

低圧充電器

蓄電コンバータ

蓄電用のコンバータを開発し、パワーコンディショナ事業のアプリケーション領域を拡大しています。

事業案内

当社は1915年の創立以来、「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」という経営理念に基づき、常に時代の主力産業を支え続けてきました。現在は、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の基幹事業を軸に、世界最高水準の技術力とノウハウを駆使し、産業と社会の発展に貢献しています。

高性能・高生産性の機械システムを構築する

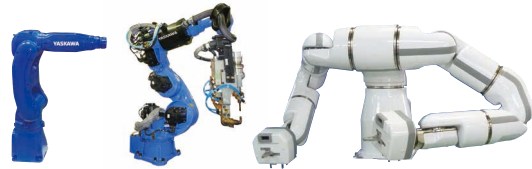
モーションコントロール ▶P.5



- No.1 ACサーボドライブ世界シェアNo.1!**
累計出荷台数*1,300万台突破(2015年) *ACサーボモータ
- No.1 インバータ世界シェアNo.1!**
累計出荷台数2,000万台突破(2014年)

自動化により産業の生産性向上に貢献する

ロボット ▶P.7



産業用ロボット世界シェアトップクラス!
累計出荷台数32万台突破(2015年)

豊かな暮らしと社会を支える

システムエンジニアリング ▶P.9



その他 ▶P.9

情報関連事業、物流サービス等

セグメント別の概況

■ モーションコントロール

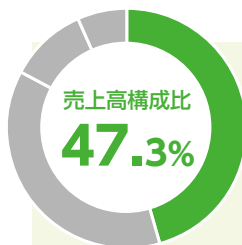
世界のニーズにこたえる
モーションコントロール事業

当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる生産機器に組み込まれています。インバータはエアコン、クレーン、エレベータなどに利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネにも大きく貢献しています。また、再生可能エネルギーの利用に不可欠な太陽光発電用パワーコンディショナにも取り組んでいます。



汎用インバータ

AC サーボドライブ

太陽光発電用
パワーコンディショナ

事業の業績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、中国市場を中心にスマートフォン関連や自動車関連での旺盛な設備投資需要により販売が堅調に推移しましたが、円高による為替影響を受け、売上高は前年同期比で減少いたしました。利益面については、販売量の増加に加え、新製品「Σ-7シリーズ」への切り替え加速による収益性の向上が円高による為替影響分を補い、営業利益は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

インバータは、米国におけるオイル・ガス関連において需要の低迷が継続したことに加え、国内外の太陽光発電用パワーコンディショナ関連の売上が伸び悩み、前年同期比で売上高、営業利益ともに減少いたしました。

売上高

886億99百万円前年同期比 **9.7%減**

営業利益

96億31百万円前年同期比 **21.6%減**

主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ

新製品

ACサーボドライブΣ-7シリーズのラインアップ拡充

ダイレクトドライブモータSGM7E・SGM7Fモデルを発売

SGM7Eモデルは、従来のダイレクトドライブサーボモータのSGMCS小容量モデル（Σ-Ⅲシリーズ）を、SGM7Fモデルは、SGMCS中容量モデル（Σ-Ⅴシリーズ）及びSGMCS中容量モデル（Σ-Ⅲシリーズ）を、それぞれΣ-7シリーズとしてリニューアルしたものです。

Σ-7シリーズの特長である業界最高レベルの24ビットシリアルエンコーダを搭載することで、さらなる高精度化を実現しました。

主な用途

- 半導体製造装置
- 電子部品実装装置
- メディアタッチパネル製造装置
- 太陽電池製造装置
- ラベル印刷機
- 液晶製造装置

SGM7E	SGM7F
コアレスインナーロータ構造	コア付きインナーロータ構造
・24ビットエンコーダ搭載 ・コアレス方式による低コギング※1で速度ムラのない滑らかな動作	・24ビットエンコーダ搭載 ・小径ロータ採用でコンパクト ・高速・高頻度位置決め可能 ・低慣性
	

※1: 電機子と回転子の磁氣的吸引力が回転角度により細かく変動する現象が少ないこと。

新製品

MP3000シリーズに待望のPCボードタイプコントローラが登場

マシンコントローラ MP3100 を発売

MP2100をはじめとするPCボードタイプのコントローラは、コンパクトでありながら、豊富なAPIによるPCからのデータアクセス・モーション制御が可能で、国内はもとより、アジア地区を中心に海外のお客さまにも幅広く好評を得ています。今回、そのPCボードタイプコントローラの後継機種としてMP3100を製品化しました。

MP3100は、MP2100シリーズと互換性を保ちながら、性能、使い易さを向上。高速・高精度モーションに加え、モーションAPI※2によるPCとの強力連携を実現しました。

主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- 電子部品実装機
- 金属加工機
- 包装機
- ロボット
- その他一般産業用機械

※2: PC上のアプリケーションからMP3100へ指令が行えるインターフェースソフト。PCからレジスタのリード/ライト、モーション指令などが簡単に行うことができます。



MP3100

セグメント別の概況

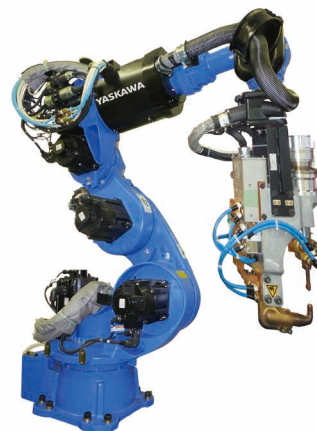
■ ロボット

新たな挑戦を続け
進化するロボット

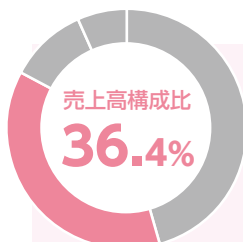
当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。ロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客さまの要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。



新小型ロボット



7軸スポット溶接ロボット



事業の業績

溶接・塗装ロボット等の主力製品を供給する自動車関連分野においては、国内や欧州等の先進国を中心に底堅い推移となりました。また、お客さまやシステムインテグレータがロボットの新たな用途を検討・検証する施設としてグローバルに展開している既存のロボットセンタを活用し、食品産業をはじめとした自動車関連以外の一般産業分野へロボットの適用範囲を拡大させるなど積極的な販売活動に注力いたしました。

一方、売上高・営業利益については当期前半の中国における需要回復の遅れや、円高による為替影響等により、ともに前年同期比で減少いたしました。

売上高

683億67百万円

前年同期比 11.6%減



営業利益

55億86百万円

前年同期比 36.9%減



主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- バイオメディカル用途対応ロボット

新製品

世界初となるAI機能の搭載により、ロボットが行う溶接工程のさらなる品質向上を実現

新形溶接ロボット MOTOMAN-ARシリーズ、新形溶接電源 MOTOWELD-X350 を発売

自動車業界では、車体の軽量化に伴い溶接部材の薄板化が進み、これに対応する溶接機のニーズが高まっています。加えて更なる生産性向上がお客様の共通の課題となっており、溶接品質の向上と生産性の向上を両立させる必要があります。

世界初となるAI機能を搭載した新形溶接電源MOTOWELD-X350と、新形溶接ロボットMOTOMAN-ARシリーズ、交流ユニット(XACU)を組み合わせることで、溶接に最適な条件を自動調整し、加工品質・生産性のさらなる向上を実現します。

- MOTOMAN-AR700、AR900、AR1440 の3機種をリリース予定
- コントローラはYRC1000を使用



XACU (交流ユニット)



MOTOWELD-X350

技術

ロボットの動作軌道を自動生成し、作業者の負担を軽減

ロボットの導入を容易にするパスプランニング機能を開発

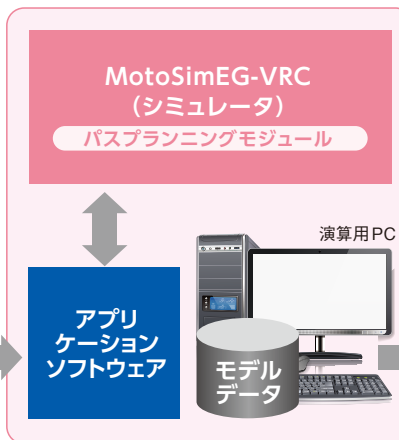
ロボットを簡単に生産ラインに導入するための取り組みとして、ロボットの動作軌道を当社のロボットシミュレータ「MotoSimEG-VRC」上で自動生成するパスプランニング (Path Planning) 機能を開発しました。本機能によりティーチング作業の一部を自動化することで作業者の負担を軽減させ、迅速かつ効率的な生産システムのセットアップや段取り替えが可能になります。

パスプランニング機能イメージ



ユーザ

- 始点・終点
- 生成条件



ロボット



ロボットコントローラ

セグメント別の概況

■システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

安定稼働が必須となる鉄鋼・水処理プラントなどにおいて高度なシステム技術と高品質な製品で最適なソリューションを提供し、社会インフラ・各種工場における重要設備の構築、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。また、環境・エネルギー分野において、省エネ・創エネ技術を応用展開した最適な環境エネルギーシステムを実現しています。



永久磁石式発電機 高速タイプ



高圧マトリクスコンバータ



事業の業績

鉄鋼プラントシステム・社会システム事業においては、需要低迷が続く中、設備の更新ニーズを的確に捉え、拡販いたしました。また、環境・エネルギー分野では、フィンランドの子会社The Switch Engineering Oyが大型風力発電関連のビジネスを積極的に展開いたしました。以上により売上高は前年同期比で増加し、営業損失（△6億68百万円）についても前年同期から14億25百万円の改善となりました。

売上高

192億53百万円前年同期比 **9.4%増**

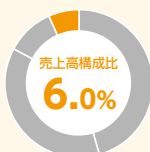
営業損失

△6億68百万円

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気システム
- 各種産業用電気システム
- 高圧インバータ
- 高圧マトリクスコンバータ
- 産業用モータ・発電機
- 風力発電用コンバータ・発電機
- 小水力発電用発電機
- 電力用配電機器
- 風力発電システム
- 太陽光発電システム

■その他



事業の業績

当セグメントにおいては情報関連事業および物流サービスなどの事業が含まれております。

売上高

113億23百万円前年同期比 **23.3%減**

営業利益

△1億79百万円

主要製品

- 情報関連製品
- 情報処理ソフトおよび付帯サービス
- OA機器
- 物流サービスほか



MMLink-1X

LIBWE 加工装置



中国 奇瑞安川電駆動系統有限公司の設立

中華人民共和国の奇瑞汽車股份有限公司の子会社である奇瑞新能源汽车技術有限公司(以下、奇瑞新能源)及び蕪湖市建設投資有限公司(以下、蕪湖市)と、車載用電気駆動システムに関する合併会社を設立します。

提携の狙い

中華人民共和国は環境対応の観点から政策的に電気自動車(EV)の普及を進めており、当社の車載用電気駆動システム事業を成長させるためには、欠かせない重要な市場です。

このような背景の中、安川電機とEV関連事業における海外からの企業誘致を推進していた安徽省蕪湖市政府、自社のEV車に搭載する電気駆動システムの調達先を検討していた奇瑞新能源が、中国市場向けの車載用電気駆動システム事業に関して提携。それぞれの強みを生かし、中国市場のお客さまのニーズに最適な電気駆動システムを提供していきます。

提携の内容

車載用電気駆動システム製品を開発・設計・製造・販売する合併会社を設立

- (1) 会 社 名：奇瑞安川電駆動系統有限公司(予定)
- (2) 会 社 設 立 日：2016年設立予定
- (3) 登録資本総額：1 億人民元



奇瑞新能源、蕪湖市との締結式

ポーランド共和国における現地法人の設立

欧州地域統括会社である欧州安川有限会社(YASKAWA Europe GmbH)を通じ、ポーランド共和国における現地法人 安川ポルスカ有限会社(YASKAWA Polska Sp.z o.o.)を設立しました。

設立の狙い

当社は、今後成長が期待される中東欧地域への事業を拡大させており、このたびポーランド共和国における拡販、サービス活動の強化を目的に現地法人を設立しました。ポーランド共和国は、EU加盟国の平均を上回る高成長を続けており、今後も市場拡大が見込まれます。これにより、同国内をターゲットにインバータ、サーボ、コントローラ、産業用ロボットなど、当社の得意とする製品全体の供給とソリューション提供の強化を図ります。

法人概要

- (1) 商 号：YASKAWA Polska Sp. z o.o.
- (2) 住 所：Duńska 11 54-427 Wrocław, Poland
- (3) 設立日：2016年3月18日
- (4) 資本金：120万ポーランド・ズウォティ(約290千ユーロ)



安川ポルスカ有限会社が入居しているビル オープニングセレモニーの様子

世界に先駆けた省エネの取り組みを紹介

当社のインバータ技術を活用した省エネの事例と、ロボット村における環境への取り組みを紹介する動画を制作しました。

当社は世界に誇るインバータ技術でさまざまな産業における省エネ・CO₂削減に貢献してきました。また、昨年オープンしたロボット村では、100の環境アイテム「100のエコ」でCO₂排出量の半減を実現し、2015年度省エネ大賞を受賞しました。

このたび、これらの取り組みを紹介する動画を制作し、オフィシャルサイトに公開しましたので、ぜひご覧ください。
(再生時間4分29秒)



QRコードからのアクセス

オフィシャルサイト(<https://www.yaskawa.co.jp>)からのアクセス方法



安川電機の福祉機器がルネサンス「元氣ジム湘南深沢」店で利用可能に

脊髄損傷者用の歩行アシスト装置ReWalk、脳血管疾患患者用の足首アシスト装置の福祉機器を使い、株式会社ルネサンスの協力のもと、神奈川県鎌倉市の「元氣ジム湘南深沢」店にて実証実験を行っています。

長期経営計画「2025年ビジョン」に掲げるヒューマントロニクス事業領域の確立に向け、産業自動化市場で培ったロボット技術を応用し、医療・福祉分野での製品開発・販売を進めてまいりました。

今回、スポーツクラブ運営のノウハウを多数持つルネサンスと協業することで、より使いやすい機器の実現に向け更なる研究開発を進めていきます。

これらの機器の利用は肢体不自由者を対象としており、常駐する理学療法士が利用者一人ひとりの身体の状態に合わせた歩行及び機能訓練のプログラムを提供します。

使用できる福祉機器の概要

(1) 歩行アシスト装置ReWalk

脊髄損傷による下肢の麻痺がある方(上肢機能は正常である方)

(2) 足首アシスト装置

脳卒中等による歩行障害を抱えている方



ReWalk



足首アシスト装置

EVベンチャー企業 GLM株式会社との資本提携

クリーンパワー事業領域において、電気駆動システムの事業化加速のために、EVスポーツカーの開発・製造・販売を行うベンチャー企業であるGLM株式会社と資本提携することを決定しました。

提携の狙い

当社では、長年培ったモータドライブ技術ならびにパワー変換技術を応用し、ハイブリッド電気自動車(HEV)や電気自動車(EV)の車載用電気駆動システムの開発と製品化を進めています。このシステムの大きな特色は「QMET(クメット)ドライブ」と呼ぶ当社独自の電子式巻線切替技術が組み込まれていることであり、広い定出力範囲を確保できるばかりでなく、全速度領域で高い効率を得ることが出来ます。

当社は、GLM社との技術協力による製品改良や新製品の共同開発により電気駆動システムに関する技術の向上と製品の拡販を推進していきます。

提携の内容

技術協力による製品改良や新製品の共同開発

(1)会 社 名：GLM株式会社

(2)会 社 設 立 日：2010年4月

(3)事 業 内 容：環境対応自動車の開発・製造・販売など



当社製品を搭載予定の次世代コンセプトカー「GLM-G4」
(パリモーターショー2016にて初公開) 画像提供:GLM株式会社

ロボット村で「ガールズデー※」イベントを開催

将来の女性エンジニアの育成支援を目的として、本社事業所「ロボット村」で地元・福岡県内の女子中学生を対象に産業用ロボットの操作体験イベントを開催しました。

3月開催の第1回では、パソコンのシミュレーターを使ったロボットのプログラミング体験をしてもらいました。プログラミング後には、教えたおりにロボットが動くか確認するため、中型の産業用ロボットを使った動作シミュレーションを行いました。

8月開催の第2回では、技術者が現場で実際に使用する操作器具(プログラミングペンダント)を使い、小型ロボットの操作を体験してもらいました。また、第1回と第2回を通じて当社の女性エンジニアとの交流時間も設け、エンジニアを目指した

理由や現在の業務内容などを説明し、技術系の仕事で女性が活躍するイメージを持ってもらう機会としました。

※「ガールズデー」とは2001年にドイツが始めた女子の技術系進路への推進キャンペーンで、企業や大学などが女子生徒を招待するオープンイベントのこと。



第1回：中型ロボットでの動作シミュレーション

迫力あるロボットにみんな真剣な眼差しでした。



第2回：小型ロボットのプログラミング体験

初めて触れるロボットに興味津々の生徒たち。

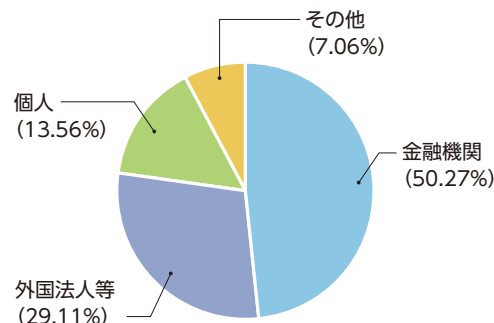
株式の状況 (2016年9月20日現在)

発行可能株式総数 560,000 千株
 発行済株式の総数 266,690 千株
 資 本 金 305億62百万円
 株 主 数 35,224 名

● 配当金情報

第101期(自2016年3月21日 至2017年3月20日)配当について			
中 間 配 当	1株につき	10円	
期 末 配 当	1株につき	10円 (予想)	
年 間	1株につき	20円 (予想)	

● 所有者別株式分布状況



IRトピックス

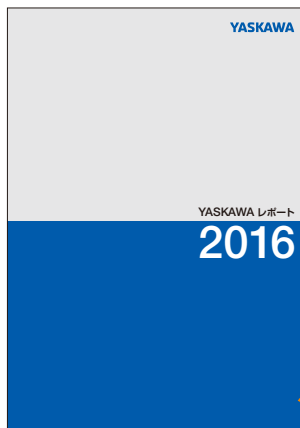
より多くの株主・投資家のみなさまに当社のことを知っていただくため、
 オフィシャルサイトを通じさまざまな情報開示を行っております。

● YASKAWAレポートのご紹介

2016年8月に統合報告書「YASKAWAレポート」を、
 オフィシャルサイトに公開しました。
 YASKAWAレポートでは本誌では紹介しきれない
 多くの情報を掲載しています。ぜひご一読ください。

YASKAWAレポート 主な掲載内容

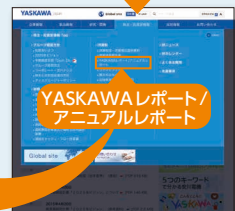
- 安川電機のビジネスモデル
- 新社長インタビュー
- 特集 新中期経営計画「Dash 25」
- 事業セグメント別情報 (中/短期の振返りと見通し)
- 社外取締役 対談 (持続的な成長を実現するために)
- 役員紹介 (全役員 顔写真掲載)
- 環境への取り組み



YASKAWAレポート へのアクセス方法

安川電機 検索

<https://www.yaskawa.co.jp/>



会社の概要

商 号	株式会社安川電機		
英 文 社 名	YASKAWA Electric Corporation		
創 立	1915年7月16日		
従 業 員 (2016年9月20日現在)	11,797名(連結) 2,762名(単独)		
役 員	取 締 役 (監査等委員である取締役を除く)	代表取締役会長 代表取締役社長 代表取締役 専務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 執行役員	津 田 純 嗣 小笠原 浩 村 上 周 二 南 善 勝 高 宮 浩 一 中 山 裕 二
	監査等委員である取締役	取締役 監査等委員(常勤) 取締役 監査等委員(常勤) 社外取締役 監査等委員 社外取締役 監査等委員 社外取締役 監査等委員	小 田 昌 彦 野 田 幸之輔 秋 田 芳 樹 辰 巳 和 正 田 中 靖 人
執 行 役 員	執行役員	常務執行役員	扇 博 幸
		執行役員	善 家 充 彦
		執行役員	小 川 昌 寛
		執行役員	生 山 武 史
		執行役員	今 福 正 教
		執行役員	熊 谷 彰
		執行役員	Manfred Stern
		執行役員	Michael Stephen Knappek
事 業 所	本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	
	東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	
	中 部 支 店	〒470-0217 みよし市根浦町二丁目3番地1	
	大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	
	九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル	
	工 場 等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・中間事業所	

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会開催月 (配当金受領株主確定日)	6月 (毎年3月20日および9月20日)
公告方法	電子公告 (http://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■ 未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■ マイナンバーのお届出 (市区町村から通知されたマイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます)

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178 (マイナンバー)

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴う手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■ お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル



0120-288-324

オフィシャルサイトのご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード

株主・投資家情報をクリック



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

YASKAWA
株式会社 安川電機

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています

UD
FONT